



畳の構造 畳の手入れ

【父の話】

高齢者は家庭内で転倒してケガする事故が多いと聞いたわ。(母)

畳が弾力性があるというから、和室の方がいいんじゃないかしら。(母)

こどもの頃に住んでいた家には和室があったけど、畳の手入れがものすごく大変だったから、洋室の方がいいんじゃないかな。(父)



畳の製造～イグサから畳表～

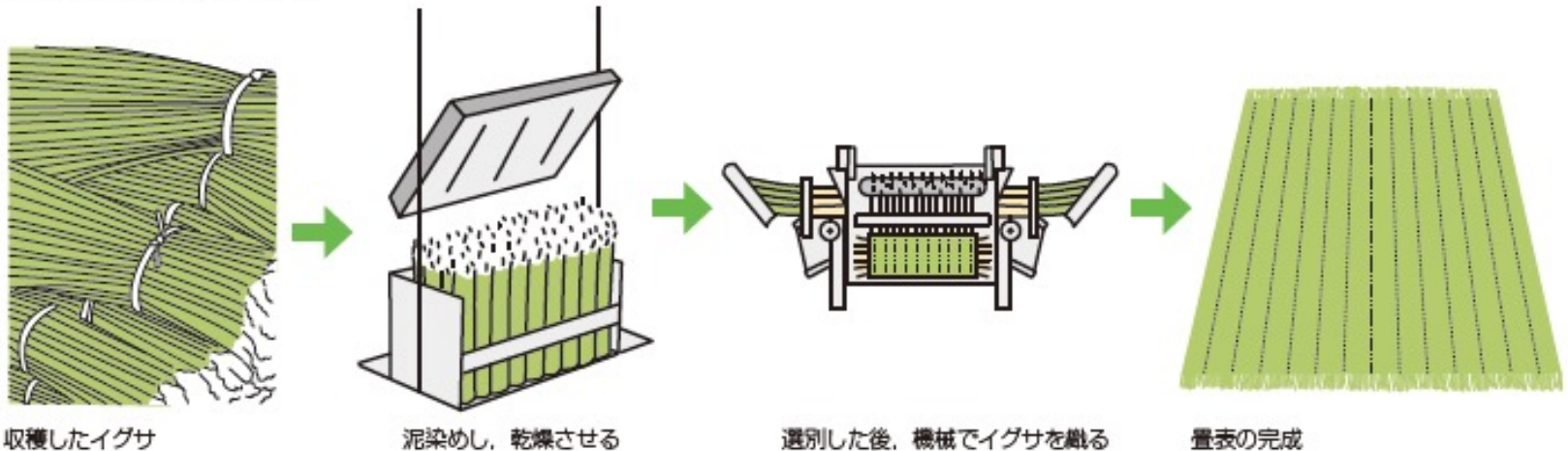


←泥染めの作業

畳の独特な匂いは
この泥染によるもの

2 畳ができるまで

イグサが畳表になるまでには、「収穫」「泥染め」「乾燥」「収納・貯蔵」「選別・製織」「仕上げ」の工程がある。収穫したイグサに色の保護、色の均一化、調湿機能の保持、香気の付与のために泥染めという作業を行う（近年この泥染めを行わない場合もある）。イグサを収穫したら、乾燥させ、選別されたイグサを機械で編み込み、ゴザのような畳表をつくる。



藎草（イグサ）とは・・



- ・ 植物学的には『イ』が正式名称。

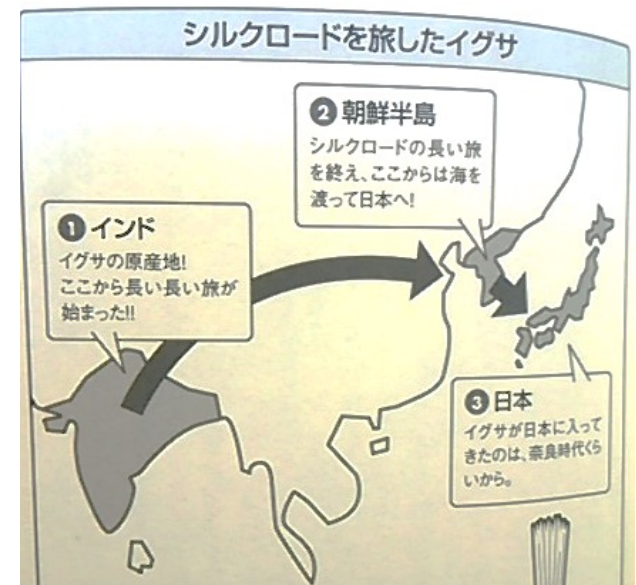
- ・ 夏の季語

藎の花や小田にもならぬ溜り水
(正

岡子規)

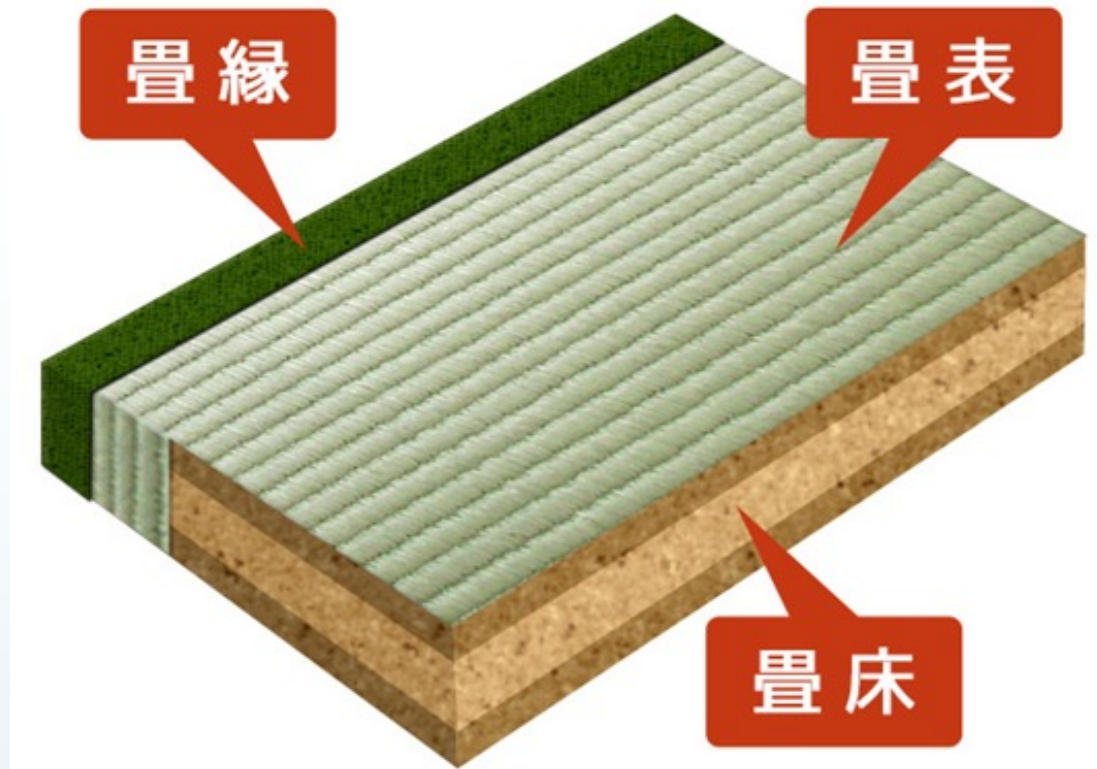
- ・ 結べるくらい硬くて弾力性にとんだので、昔はモノを結ぶ時に使用

- ・ 奈良時代に日本に伝来



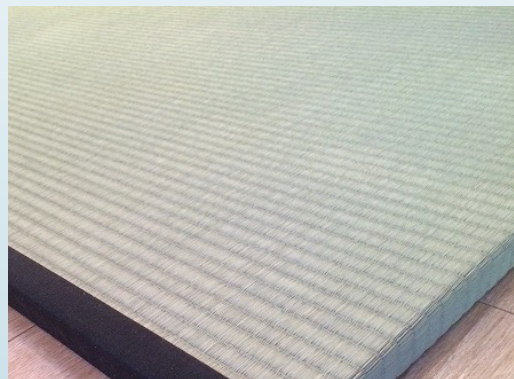
たたみの構造

畳は
「畳床」
「畳表」
「畳縁」で
構成されています。

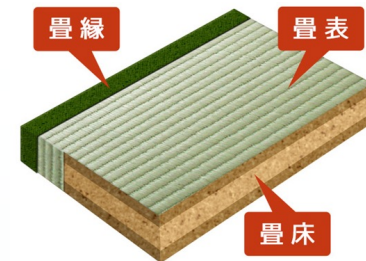


【畳表】

畳表は、イグサを織り込んで作られます。ゴザのようなものです。イグサの質や長さ、色や本数などによって等級付けされます。



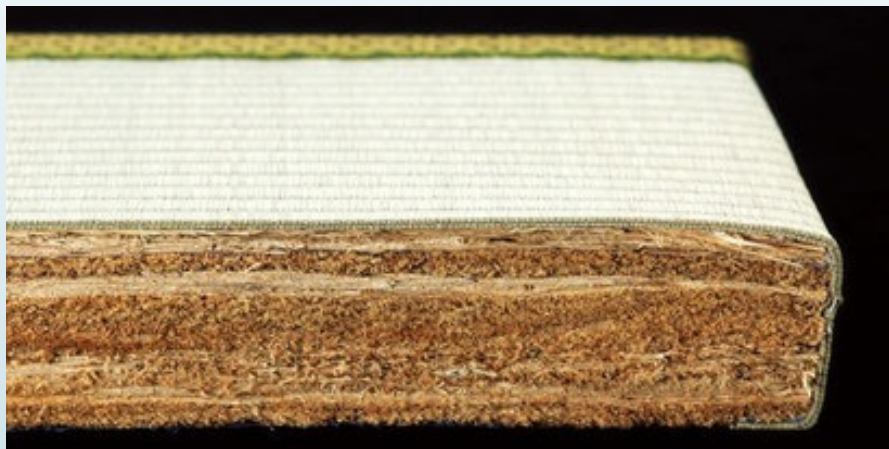
たたみの構造



【畳床】

伝統的な日本の畳は、お米を収穫した後の藁（わら）を何重にも重ねてできた天然素材100%の「藁床」を使用していました。近年では住宅事情の変化や、藁自体の生産が少なくなったため、藁の床に変わり木材チップの発泡スチロールをはさんだ軽い建材畳床が普及。

【畳床の種類】



藁の床

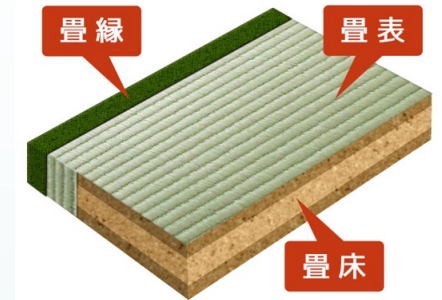


藁 + スチレンボートの床

たたみの構造

【畳縁】

畳床に畳表をかぶせ、畳縁を縫い付ける事で畳が完成します。畳縁は、模様や色によって身分等を表す時代もありました。（下図）昔は綿の糸を使っていましたが、最近では化学繊維を使ったものが主流です。



【伝統的な畳縁の種類】

■ たたみ縁の種類

縹網縁(うんげんへり)



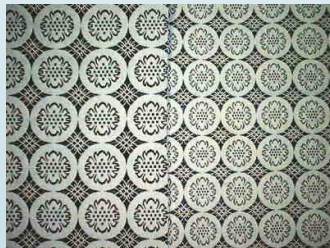
位階のある人のみが使用を許された柄。一般人は使用不可とされていました。



高麗縁(こうらいへり)



紋を織り出して作った縁で、朝鮮から伝来。主に神社仏閣で用いられます。

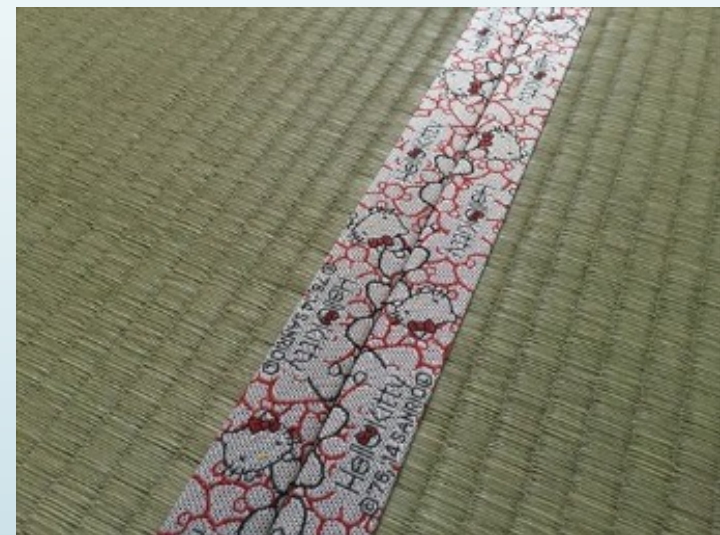


○ 新たなたたみの縁柄

畳縁は畳表と畳床を包むことで畳を保護し長持ちさせ、畳を敷き詰めるときにできる隙間をしめるなどの役割がある。畳縁の模様や色によって身分を表す時代もあったが、現代では化学繊維を素材とした新しいデザインも登場し、三田保育園（社会福祉法人修敬会）では、幼児に親しみのあるかわいい動物の絵柄の縁の畳を活用している。畳縁も住宅の多様に合わせてさまざまな用途によって選べるようになっている。



新しい取り組み



様々なデザインの畳の縁も流通しています

畳の管理・お手入れ

畳は植物を利用している事もあり、吸湿・放湿効果があります。

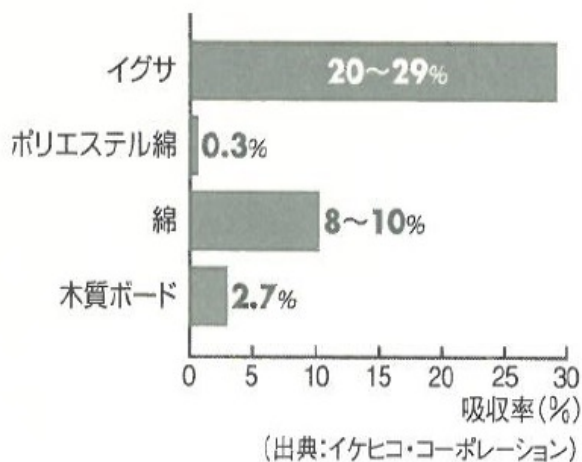
ただ梅雨時や湿度の高い日が続いた場合は適切に手入れを行わないと、カビが生えやすくなります。

換気と適度な掃除が必要となるので、その方法を見てみましょう。

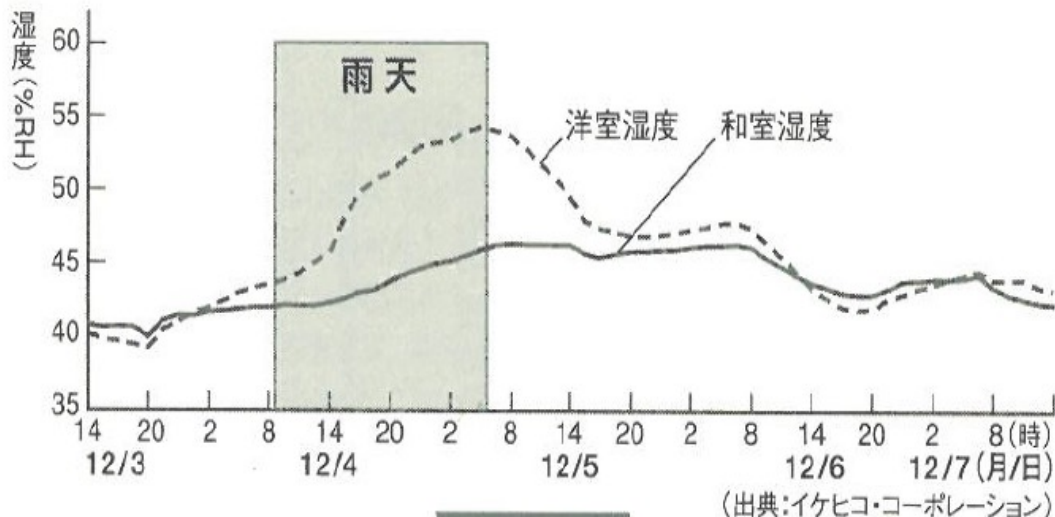
畳は天然のエアコン

畳は植物であるイ草を使用している
事もあり、調湿効果があります。

■イグサの吸湿率比較

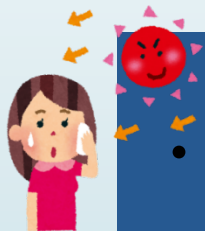


■和室・洋室の湿度変化



調湿効果

- 夏は湿気を吸収し、冬は湿気を放出する働き
⇒天然のエアコン
- 雨天時にフローリング部屋に比べて快適な環境を作りだせるメリットもある



畳のカビを防ぐために・・・

湿気を避ける

- ・ 風通しを良くして、湿度70%以下し、カビの生育を抑える
- ・ 湿度50%以下だとほとんどカビは発生しない



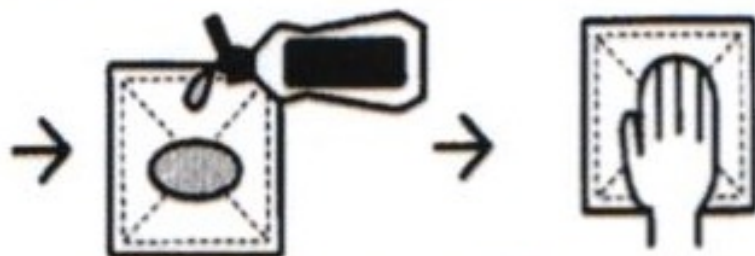
高温にさらす

- ・ 50°C以上の加熱で一般的にはカビは死滅。
- ・ 時々日光に当てる

手入れを しっかり

から拭きでの掃除や換気をしっかりと行い、早めにカビを除去。カビが生育しにくい環境を作る

クレヨンがついたとき



クリームクレンザーをごく少量乾いた布に付けて、丁寧にこする。たたみの目に沿って拭くことを心掛けると傷が付きません。

醤油をこぼしたとき



小麦粉やベビーパウダーなど、吸水力の高い粉末をふりかけ、醤油を吸い取らせてから掃除機で処理すると効率が良くなります。

畳屋が教える掃除方法（参考）

インク	布を牛乳で湿らせて拭き取る。
灯油・醤油・ 飲み物	粉末の洗剤・クレンザー・潮・小麦粉・ベビーパウダーなどをふりかけ、十分に液体を吸い取ってから掃除機で吸い取り、その後固く絞った布でしっかりと拭き取る。
ガム	シンナーかベンジンを布に浸して拭き取ります。畳の目につまっている時は、布の上からアイロンをあてて、柔らかくして取り除きます。
落書き	油性のものはマニキュアの除光液で拭いたあとから拭きを。クレヨンなど水性のものは歯ブラシにクリームクレンザーをつけ軽くこすったあと水拭きとから拭きを。
カビ	消毒用アルコール(エタノール)を布に染み込ませて拭き取ってから風を通して乾燥させる。
ダニ	掃除機で数回吸い取り、風通し良くする。畳を上げて除湿器で乾燥させたり、湿気がひどい場合はドライヤーをあてる。
焼け焦げ	タバコのように小さい場合はオキシフルで漂白し、ロウをたらして穴を埋める。セロハンテープを貼って焦げ穴を大きくしないようにする。
家具の跡	凹んだ所に適度に霧吹きして、濡れタオルを当ててアイロンをかける。その後風を当て十分に乾かす。
日焼け	中性洗剤で固く絞った雑巾がけをした後、酢を混ぜたお湯で拭く。
ペットの尿	すぐに塩か小麦粉をふりかけ水を吸い上げる。できるだけ吸収させたあとほうきで掃き、その後お湯でぬらした雑巾を固く絞って拭く。最後に乾拭きをする。

参考URL

- ・ 全日本畳事業協同組合
「畳のお手入れ」
<https://www.tatami.or.jp/care>